

特集 「たけはらファン」

はじめました。

Vol. 1

今月号から、隔月の特集企画として、竹原を好きな人が集う「たけはらファンクラブ」会員のうち市外在住の人以外から見た竹原、竹原の魅力についてお話しいただきます。

第1回目となる今回は、竹原町吉崎地区でどのように栽培や、町並み保存地区内の直売所で竹原産のぶどうを原材料としたワインなどを販売されている、「瀬戸内醸造所株式会社」の太田祐也さんにお話を伺いました。

●歴史ある竹原ぶどうに惚れ込んで

瀬戸内醸造所は「旅するワイナリー」をコンセプトに、瀬戸内の様々な果樹を使ってお酒を作っています。竹原が歴史あるぶどう産地であることを知り、JA三原と産業振興課にぶどう農家を紹



おた ゆうや
太田 祐也さん プロフィール

三原市出身。株式会社フォーシー代表として地域ブランディングを行う中で、「ワインを通して世界中の人々に瀬戸内の食文化を楽しんでもらいたい」と思い、令和元年9月に瀬戸内醸造所株式会社を設立。

令和3年4月に三原市須波にワイナリーを建設するとともに、町並み保存地区内に直売所をオープン。瀬戸内各地のぶどうを使用したワインを醸造しており、竹原町吉崎地区のキャンベル・アーリーを使用したワインも醸造している。



▲町並み保存地区内の「佐倉商店」を改修し、新たにワインの直売所をオープン。



▲竹原町吉崎の直営農場。令和2年に農地を集積し、現在は4品種のぶどうを栽培しています。

介していただき、キャンベルを購入しました。このキャンベルで醸造したワインがすごくおいしく、また、すっきりとした酸味で、吉名産のじやがいもを使ったフライドポテトと最高のマリアージュ（相性）を醸し出していました。

また、「歴史」と「技術」と「味」が揃ったこの竹原で直営農場を作りたいと思い、今年の3月からぶどう栽培を開始し、直売所も5月にオープンしました。

竹原のみなさんはとても温かく、JA三原ぶどう部会のみなさんには農地の集積や栽培技術を教えていただき、また町並み保存地区にお住まいのみなさんは、市外から来た私を優しく受け入れて応援してくださり、感謝しております。

●竹原の持つ「歴史」という魅力

竹原は歴史ある町であり、多くの魅力に溢れています。町並みはもちろんのこと産業にも魅力があり、直売所である「佐倉商店」は江戸時代の建物ですが、より竹原らしくできないかと考え、内装に松本煉瓦株式会社の煉瓦を使わせていただきました。吉名町は百年以上続く煉瓦の産地で、国の近代化産業遺産に指定された煙突があります。松本煉瓦株式会社の松本社長の熱いお話も大変勉強になりました。また農産物も歴史があるだけでなく、吉名のじやがいもは赤土で栽培され甘みがあり、小吹のたけのこも、味・食感ともに抜群です。

竹原の魅力をたくさんみなさんから教えていただいたので、今後はファンクラブの一員として、魅力を伝えていきたいと思っています。



▲たけはらファンクラブホームページ

ごみの分別が 10 月 1 日から変わります

	燃やせるもの	燃やせないもの	資源物	リサイクルするもの	有害ごみ	粗大ごみ
9 月 30 日まで	台所ごみ、紙くず、布くず、木くず等	容器包装プラ、埋立ごみ（ゴム・皮革類、発泡スチロール、ガラス、ライター類等）	新聞・ちらし、雑誌・雑紙、段ボール、紙パック、布類、毛布、白色トレイ、灰	ビン類・カン類・金属類・小型家電類、陶磁器類、ペットボトル	乾電池、蛍光灯、体温計、温度計、鏡	家電製品（家電リサイクル品を除く）、家具類、寝具類、乗物類等
10 月 1 日から	容器包装プラ、埋立ごみ（ゴム・皮革類・発泡スチロール）、布類・毛布、白色トレイが加わる。	※燃やせるものに区分	布類、毛布、白色トレイを除く。	ガラスが加わる。	ライター類が加わる。	変更なし

○指定ごみ袋について

現在の指定ごみ袋は、12 月 30 日までご利用いただけます。

○現在のごみ処理施設（竹原安芸津環境センター、竹原安芸津最終処分場）について

現在のごみ処理施設は、9 月 30 日までごみの受入を行います。

○新しいごみ処理施設（広島中央エコパーク）について

新しいごみ処理施設では、10 月 1 日から全ての種別のごみの受入を行います。

問い合わせ 市民課生活環境係 ☎ 22-2279

おめでとうございます



「おひさま文庫」が文部科学大臣表彰を受賞

「おひさま文庫」（代表 土肥甲子さん）は、吉名学園や代表者の自宅での絵本の読み語りや、地域住民や子供たちとお話に出てくる料理を作るなどの活動が、子供たちの読書活動推進や「人づくり、つながりづくり、地域づくり」に繋がるとして高く評価され、「令和 3 年度子供の読書活動優秀実践団体の文部科学大臣表彰」を受賞されました。

おめでとうございます

春の叙勲受章

4 月 29 日、春の叙勲受章者が発表されました。



瑞宝単光章 受章
山元 順一さん
(下野町)

元竹原市消防団分団長の山元順一さんは、約 35 年間、消防活動や防災活動に従事されました。団員からの信望が厚く、郷土愛に徹し、防火・防災思想の普及啓発活動を率先して行うことで住民への信頼に応えてこられました。



瑞宝単光章 受章
宮本 克子さん
(忠海東町)

忠海港東防波堤灯台灯火監視協力者である宮本克子さんは、約 30 年にわたって船舶の安全航行を支えています。灯台は経営する酒販店兼自宅から近い場所にあり、船が安心して通過できるように常に見守っております。